

水稲用除草剤の河川流出モニタリング



写真1 採水の様子



写真2 分析の様子

表 調査対象農薬

農薬成分	商品名	備考
プレチラクロール	エリジャン乳剤	除草剤(初期剤)
	エリジャンジャンボ	除草剤(初期剤)
	クサトッタ粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	クサホーブD粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	スパークスター粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	ホクト粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	ワンオール粒剤	除草剤(初中期一発剤)
ブタクロール	デルカット乳剤	除草剤(初期剤)
クロメプロップ	ミスターホームランLジャンボ	除草剤(初中期一発剤)
	ゴウワンLフロアブル	除草剤(初中期一発剤)
メフェナセット	ザークD17粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	バトル粒剤	除草剤(初中期一発剤)
	リードゾン粒剤	除草剤(初中期一発剤)

高品質・多収を目指す水稲栽培において除草剤は必要不可欠な生産資材です。しかし、水田は水系が圃場から河川まで直接つながっているため、使用した農薬が公共水域へ流出するリスクがあります。

当センターでは、除草剤の河川への流出実態を把握するため、平成23年度から毎年河川水中の農薬のモニタリング調査を実施しています。平成23、24年度は仁淀川水系の柳瀬川を対象河川とし、それぞれ6成分、4成分についてモニタリングしました。その結果、両年度とも全ての成分が基準値を下回っていました。

今年度は、四万十川水系の四万十川、仁井田川、仁淀川水系の波介川を対象河川としています。モニタリング対象は、主に移植前後に使用される初期除草剤と初中期一発除草剤(表)に含まれる4成分としました。

調査項目は、河川水中の農薬濃度、pH、流速、水温、降水量などで、調査期間は各地域で農薬使用頻度の高い3月下旬から7月中旬まで計28回を予定しています。

なお、本調査は環境省委託事業「農薬残留対策総合調査」の中で実施しています。
(農薬管理担当 清遠亜沙子 088-863-4915)

高知県農業技術センターニュース 第72号 平成25年7月1日

編集発行 高知県農業技術センター 所長 岩崎 昭雄

農業技術センター

〒783-0023 高知県南国市廿枝 1100
TEL (088) 863-4912
FAX (088) 863-4913
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

農業技術センター山間試験室

〒789-0315 長岡郡大豊町中村大王 3523-7
TEL (0887) 72-0058
FAX (0887) 72-1544
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>

果樹試験場

〒780-8064 高知市朝倉丁 268
TEL (088) 844-1120
FAX (088) 840-3816
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2013>

茶業試験場

〒781-1801 吾川郡仁淀川町森 2792
TEL (0889) 32-1024
FAX (0889) 32-1152
<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2014>